

令和7年度 江戸川区立清新第二中学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	人間尊重の精神を基調として個の伸長を目指すとともに、人とのかかわりをとおして豊かな人間性を培うことや、魅力ある教育活動をとおして確かな学力の定着を図る。		目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が登校したいと思い、夢や目標がかなえられるような学校づくり。地域コミュニティの核となる学校づくり。</li> <li>個を伸長させ、確かな学力を身につけ、豊かな人間性が溢れる生徒。</li> <li>反省する謙虚さ、前向きな思考を持ち、専門性の向上、社会人としての常識を備え、魅力ある授業を構築できる教師。</li> </ul>
前年度までの本校の現状	成果	自ら学び、自ら発信する生徒の育成を掲げ、生徒の自主性や他者への配慮、自己肯定感などの伸長を感じ取ることができる取り組みを行ってきた。成果としても感じることができ、学力テストにおいても都平均を上回る結果となった。	課題	学力の二極化や不登校生徒の新たな出現など、本校においても課題となっている。誰一人取り残すことがないように、個別最適な学びや安心で安全な学校づくりに尽力することが課題である。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A~D)		「中間」学校関係者評価(A~D)		「年度末」自己（学校）評価(A~D)		「年度末」学校関係者評価(A~D)		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	<学力の向上> ・生徒が自ら学び、自ら発信する授業を展開し、「個別最適な学び」及び「協働的な学び」を実践することで学力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究授業（管理職が観察）を実施</li> <li>PDCAサイクルによる授業改善の徹底</li> <li>ICT機器の更なる活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員による研究授業を2回以上行う。</li> <li>教員同士（他教科でも）の授業観察を行い、改良点、改善点、伸長点を議論。常にトライ&amp;エラーを意識した改善を行う。</li> <li>生徒が自ら学びに向かう一助としてのICT機器の活用を、研究授業などとおして研鑽を積む。</li> </ul>	B	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究授業は2学期に行う</li> <li>教員同士の授業観察も2学期に必ず一人2回行う。現在は各自授業改善を行っている</li> <li>ICT担当がベネッセ主催のICT研修にて、オンライン発表するなど、全員が積極的に取り入れている</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力の向上が、学力調査の結果からもうかがえる。これからも頑張ってもらいたい</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究授業を行い、その後の協議を充実させた。すべての教員が意見を言いやすい状況づくり、意味も意義もある協議となった。その結果、各々が授業を振り返り、一層の改善に向けてICT活用を含む教材研究に勤しむことができた。2学期に必ず2回他教員の授業観察をしたことがきっかけに、授業を観察しあう雰囲気や状況をつくることもできた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生方の努力に感謝します。これからも生徒が楽しく授業に臨めるようにお願いします。</li> </ul>	新学習指導要領の情報を適宜伝え、現在の学習指導要領でも取り入れられることには積極的に取り組んでいく。
	<放課後学習教室の充実> ・放課後学習教室（英語・数学）の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後学習教室担当の外部業者との連携を強化し、学力の分析や具体的な支援を検討、実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前後期に1回ずつ連絡会を開催し、検討する。</li> </ul>	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当を中心に業者と打ち合わせをしながら、生徒が苦手としている部分を補う形で進めている。10月に入れ替え予定</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>区の施策をしっかりと生かしている。生徒にとってはありがたいことである</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後補習教室との連携は良い方向に進んでいる。生徒への個別対応が基礎の定着につながっている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な生徒に必要な指導がいきわたるように配慮してください。</li> </ul>	これからの基礎を定着させたい生徒を中心に連携しながら進めていく。
	<読書科の更なる充実> ・全学年探究的な活動を取り入れ、主体性や自発性の向上を図る。 ・図書室の積極的な活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>書籍やインターネットを利用して、興味のある事柄を調べ、紙面またはICT機器でまとめ発表する。主体性や自発性の向上を図る。</li> <li>昼休みの他に、放課後も週1回開室する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年、探究的な活動を行い、1度は発表会を開催。</li> <li>開室回数を増加することで積極的な活用につなげる。一人当たりの貸出数1.2倍を目指す。</li> </ul>	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年計画的に進めている。特に3学年は防災について学習し、防災訓練にてプレゼン予定</li> <li>図書委員を中心に本の福袋などの取り組みを実施。学校応援団の協力で10月8日、放課後プレ開室</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒のために様々な試みを実施してくれてありがたい。探究的な学習をもっと進めてほしい</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合防災訓練では3年生を中心にプレゼンや各ブースでの運営をすることができた。地域や小学生も巻き込んでの訓練で、また、防災学習も進めたことで防災に関する意識の向上につながった。</li> <li>放課後の開室はとても好評である。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒のことを第一に考え取り組んでいることに感謝したい。放課後の図書室開放には学校応援団も協力してくれていることにも感謝したい</li> </ul>	防災・減災の意識や知識はこれからも高めていかなければならない。一層の取り組みを行う。図書室の毎日の放課後開室を目指す。
体力の向上	<運動意欲や基礎体力の向上> ・体育の授業における補強運動の充実 ・昼休みの運動の奨励 ・マラソン大会の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>準備体操後の補助運動を種目や学年を考慮し実施。個別補強運動の実施。</li> <li>教員も一緒に運動や雨天時のサブアリーナ開放で運動を促す</li> <li>12月に予定している「マラソン大会」に向けての継続的な体力向上の取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通常の補強運動に加え、自身に必要な体力を考えさせて、個別の実施も行う。</li> <li>晴天時は声かけや教職員一緒に運動を実施。雨天時はサブアリーナ開放も検討</li> <li>マラソン大会に向けた練習の充実（2週間前から）</li> </ul>	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>補強運動は順調に行っている。個別対応はこれから行う</li> <li>監視の関係でできてはいない。見守りの大人をどうするか思考中</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>何をやるにも体力は大切。もっと遊びから得られる体力を向上させてほしい</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己分析から、自分にあったトレーニングを考えさせ実行させている。効果は長い目で確認していきたい。</li> <li>体育館、サブアリーナの開放は行えなかった。監視体制の問題は来年度の課題としたい</li> <li>マラソン大会では生徒がよく頑張っていたと感じている。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>ぜひ生徒が体を動かせる場所を提供してほしい。やはり楽しい遊びから得るものも大切にしたい。</li> </ul>	自分自身をしっかりと分析する能力は多岐にわたる必要があるので、これからも様々な場面で自己分析をさせていきたい。監視体制の問題を解決するために、人の確保に努める。
教育の推進 共生社会の実現に向けた	<特別支援教育の推進> ・エンカレッジルームの活用促進 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンカレッジルームの柔軟な活用を、担当教員中心に考えていき、不登校生徒の教室復帰を図る</li> <li>現在あるユニバーサルデザインに基づく授業づくりや教室環境を見直し、全員が過ごしやすい、活躍できる教室環境や授業を確立させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1学期中には複数人の別室支援員を採用し、より充実した支援を行える環境をつくる</li> <li>週1回の会議で、随時見直しを図る。</li> </ul>	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援員を3名導入し、常に1人はいる状況をつくっている</li> <li>刺激物にカーテンや授業めあての表示など、誰にでもわかりやすい環境を整えた</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業に出られない生徒への対応はありがたい。ぜひ教室復帰させてほしい</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンカレッジルームの利用者は増加した。支援員と教員が協力して活動できた結果だと思われる。教室にも少しずつ入るようになってきている生徒も数名いる。</li> <li>全員が過ごしやすい環境をつくることができています。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンカレッジルームの柔軟な活用やユニバーサルデザインを取り入れた環境づくりは非常に良い取り組みなので、継続・発展させてほしい。</li> </ul>	ユニバーサルデザインについては、一層の環境整備や授業中の支援について強化する。また、エンカレッジでも、仲間と一緒に活動で区仕組みを考える

不登校・いじめ対応の充実	<p>&lt;子どもたちの健全育成に向けた取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どこにもつながっていない不登校生徒の改善</li> <li>教育相談の強化</li> <li>不登校巡回教員との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>担任以外どこにもつながっていない生徒へ他機関等へつなげられるように面談を繰り返す</li> <li>話やすい先生への相談週間の実施</li> <li>不登校巡回教員と連携し、不登校生徒への対策や他校の情報を共有することで、不登校生徒対応の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1学期のうちに全員をつなげられるように面談を行う。</li> <li>年間5回の相談週間を実施</li> <li>週1回連絡会で情報共有し、対応策を検討する。</li> </ul>	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな不登校の生徒に関しては、関係諸機関につなげているが、継続している生徒に関してはつなげられないケースもある。</li> <li>今週2回目を実施</li> <li>不登校対応に関しては、不登校巡回教員と教師が協力しながら対応し、少しずつ改善がみられる生徒も出てきている。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>不登校にならないような対策は今後とも継続し、楽しい学校生活を送らせてほしい</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほとんどの不登校生徒がどこかにつながり、現状を変えようと思わせることはできている。</li> <li>相談週間は生徒が話しやすいように、生徒の要望に即した環境をつくり、話を聞いている。</li> <li>不登校巡回との連携で、以前より多くの生徒が改善されている。</li> </ul>	A	<p>不登校生徒への支援は大変だと思うが、誰一人取り残すことないようにお願いしたい。</p>	<p>これからも不登校生徒は増加傾向になっていくと思われる。そのためにもしっかりと仕組みを作り上げ、不登校巡回教員等との連携を図りながら改善を進める</p>
	<p>&lt;特別の教科 道徳の充実&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いじめに関する道徳の実施</li> <li>不登校生徒に対する周囲の配慮やユニバーサルデザインについての道徳を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめや不登校に対するそれぞれの見方、考え方を共有することで、全員で支え合い、協働での作業がスムーズに行えることにつなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめや不登校に関する道徳を年間3回ずつ行い、指導の充実を図る。</li> </ul>	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの学年で計画的に行っている。校長自らも道徳の授業を全クラスに実施。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめが少なく安心している。先生方の努力に感謝している</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめは数件発生している。いずれも謝罪等ですんでいる。また、生徒同士でも解決できるような人間関係の構築を目指す</li> </ul>	A	<p>誰もが気持ちよく過ごせる学校づくりをお願いしたい。</p>	<p>いじめや不登校に関して、生徒に自分事としてとらえさせることに力を入れていきたい。</p>
学校（園）の地域社会に開かれた実現	<p>&lt;自校（園）の取組の積極的な発信&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校（園）ホームページの充実等</li> <li>学校（園）公開の実施・充実</li> <li>地域活動への積極的な参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段の様子や本校の取組をホームページ等で発信</li> <li>土曜授業だけに限らず、すべての行事等も公開</li> <li>地域のボランティア活動や祭礼への積極的な参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日、ホームページを更新することにより、保護者の学校への関心を高める。</li> <li>3回の土曜授業と行事をすべて公開。その他にも、総合等を地域と協働の活動にする</li> <li>地域の活動があることに学校で紹介し、ボランティア等での参加を促進</li> </ul>	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段の様子や学校での出来事、重要な情報はHPで発信している。</li> <li>現在、防災関係で地域との連携を計画中</li> <li>1学期に3回実施。2学期以降も4～5回実施予定</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が地域で活躍していることは聞いている。とてもうれしいことである。今後とも地域とのつながりは大切にしてほしい</li> </ul>	A	<p>学校の状況を知ってもらうことで、ご指摘を受けることもなく学校協力していただいている。1学年の防災マップづくりでは地域や都立高の先生等にもご協力をいただき、良いつながりが生まれた。相当数のボランティア活動に参加できた。</p>	A	<p>清新二中は評判も良く、非常に関心度も高い。先生方の努力に感謝したい。地域も協力していきたい。</p>	<p>地域との一層の連携を図るべく、情報の発信と、地域との共生を目指す。ボランティアは限られた生徒だけではなく、多くの生徒に体験させるようにする。</p>
	<p>&lt;学校関係者評価の充実&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土曜公開授業時に学校評議員会を開催</li> <li>行事等も積極的に足を運んでいただけるように案内する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間3回評議員会を実施</li> <li>行事毎に案内状を送付</li> </ul>	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>評議員からの評価や指示を参考に、これからも学校経営に取り組む</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>評議員としても、学校と連携できて充実感を感じている</li> </ul>	A	<p>評議員をはじめ、関係者の意見も吟味しながら取り入れた結果、行事等、充実した活動につながった。来校者も増加した。</p>	A	<p>評議員として、学校との連携や意見交換を強化していく。</p>	<p>今後も学校外の意見は十分に吟味し、取り入れながら学校運営を心がける。</p>
教育の展開 特色ある	<p>&lt;学校における働き方改革プラン&gt;</p> <p>「学校における働き方改革プラン」に基づく取組の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定時退勤日を設ける</li> <li>業務、部活動の均等化を図る</li> <li>業務の完全マニュアル化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学期に1回（定期考査2日目）+設けられる日を検討</li> <li>主幹を中心とした業務の割り振り、見直し（年2回）</li> <li>マニュアル化できる業に関してはすべてマニュアルを作成</li> </ul>	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>できるときは定時退勤を心がける教員が増加してきた。</li> <li>主幹を中心に業務改善に取り組んでいる。</li> <li>誰が行ってもできるようマニュアル化する教員も出てきており、意識は向上している。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生方も生徒もゆとりをもって穏やかに教育活動に励んでほしい</li> </ul>	A	<p>校務を遂行するにあたり、それぞれが、工夫や削減、DX化を考えるようになり、職員に自主性が生まれてきた。また、多くの業務でマニュアル化にも取り組むことができた。</p>	A	<p>地域の方も積極的に取り入れ、生徒にも先生にも良い環境づくりがこれからは必要。</p>	<p>これからも見直しをしなければならぬ業務は多くある。校務DX化との兼ね合いも考えながら進めていきたい。</p>
	<p>&lt;防災教育の充実&gt;</p> <p>避難所開設訓練や防災訓練の実施、防災教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合学習において、中学生が行う避難所での活動や被災時の行動を学ぶ</li> <li>防災訓練、避難所開設訓練の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2学期までに1年生は災害を知る、2年生は災害の探求学習、3年生は避難所運営を目的とし、総合学習を進める</li> <li>12月に小中、地域合同総合防災訓練を実施</li> </ul>	B	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在担当が計画中であるが、生徒中心の活動になるように計画している。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>何か協力できることがあれば請け負う。これをきっかけに防災意識を向上させてほしい</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災訓練では生徒が自主的に活動し、有事の際には自分たちに何ができるか考えるようになってきた。大きな意識づけのきっかけにできた。</li> </ul>	A	<p>あれだけの規模の防災訓練を自分で行えることはなかなかない。地域も一緒に活動していきたい。</p>	<p>これからも自助・共助の精神をしっかりと植え付けられるよう取り組んでいきたい。</p>